

第47回 日韓技術士国際会議（釜山）プレゼンテーション報告

A Presentation Report on the 47th Japan-Korea Professional Engineers International Conference in Busan

来年、2018年10月に第48回日韓技術士国際会議が神戸で開催されます。それに先立ちまして今年2017年に釜山で第47回日韓技術士国際会議が、開催されましたので次年度のピーアールをするため、近畿本部日韓技術士国際会議運営委員会のメンバーで参加し、プレゼンテーションを行ってまいりました。

日韓技術士国際会議は、日本と韓国、両国技術士の相互友誼を図り、両国の科学技術振興と産業及び経済発展を期することを目的としております。第1回が1971年にソウルで開催されてから、毎年欠かさず交互に日本、韓国で開催され、今回で47回の歴史を重ねております。近畿での開催初が、神戸となります。

第47回日韓技術士国際会議は、2017年10月26日（木）から28日（土）までの3日間、韓国釜山広域市にあるロッテホテル釜山を主会場に開催されました。釜山は、古くから朝鮮半島と日本とを結ぶ交通の要衝として栄えてきた港湾都市であり、首都ソウルに次ぐ韓国第2の都市として、政治・経済・文化の面で重要な役割を担っております。韓国主要都市中で最も日本に近く、大阪、関空から約1時間10分で到着しました。

今回の会議テーマは、「気候変化と自然災害への挑戦と対応」でした。日韓両国とも歴史的にも様々な自然災害に苦しめられてきたが、昨今の気候変化の影響でそれらの被害規模がさらに甚大なものになってきており、災害対策は両国の技術士にとっても喫緊の課題であります。

大会前週に大型の台風21号が発生し、大会終了時に台風22号が発生するという間でしたが、大会期間中の釜山はそれらが嘘のような秋空の下、3日間の日程を滞りなく終えることができました。

参加者数（技術士、事務局）は、日本から105名（同伴者含め112名）、韓国から136名（同160名）でした。

■プレイベント（10月26日 午後）

第11回女性技術士交流会は、日本8名、韓国16名の参加を得て開かれました。両国活動報告、両国からの論文発表など2時間を超える内容の濃い会合の後、参加者で会食を行いました。（写真1）



写真1 女性技術士交流会

第13回親善サッカー大会は、釜山アシアド補助競技場で開催されました。日本選手は移動の疲れも見せずに奮戦し、白熱した好ゲームが展開されましたが、結果は0-2で日本側が惜敗しました。その後の交流会では双方が健闘を称えあいました。（写真2）



写真2 日韓親善サッカー大会

■式典・全体会議（10月27日 9:00～12:00）

式典では両国会長による式辞に続き、来賓か

らの祝辞を頂きました。釜山広域徐秉洙市長（副市長代読）からは「釜山で意義深い国際会議が開かれ、両国の目標が実現されることを期待します」と歓迎の言葉が述べられました。また、基調報告が両国委員長からなされました。その後、両国からの会議テーマに基づく基調講演と討議が行われました。地域特別講演として釜山広域市についての講演がなされました。

近畿本部日韓技術士国際会議運営委員会から、来年度開催のPRとして、リーフレットを両国の参加者に、韓国語版の神戸の観光パンフレットと三宮周辺地図を韓国の参加者に配布しました。（写真3）

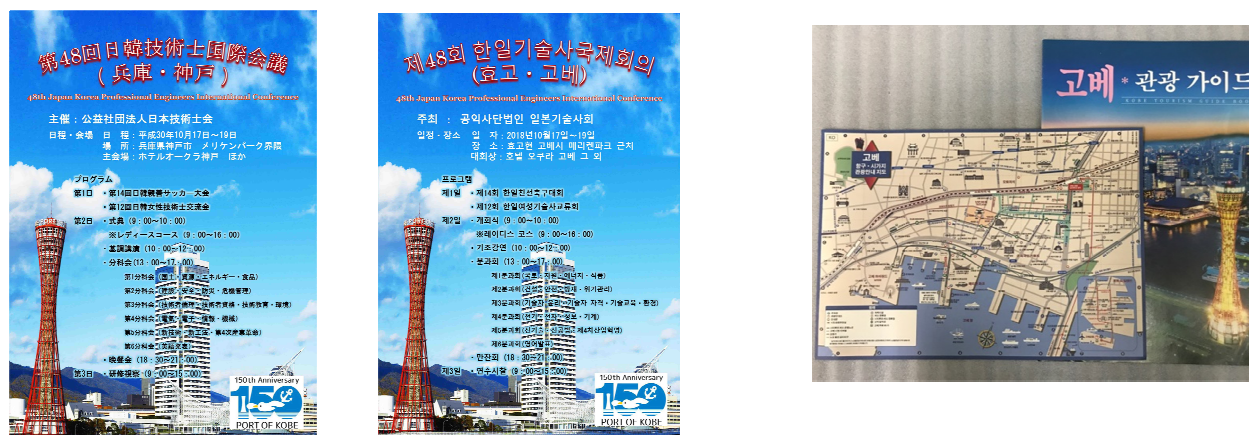


写真3 配布したリーフレット・パンフレット

■分科会（10月27日 13:00～17:00）

午後6つの分科会を開催。逐次通訳（第6分科会は英語発表）を交えて、36名の日韓技術士（日本16名・韓国20名）が発表し、活発な討議が行われました。

■レディースコース（10月27日 9:00～16:10）

日韓併せて32名が参加し、龍宮寺、冬栢島を観光した後に昼食、午後は広安大橋、釜山港大橋を経てチャガルチ魚市場、国際市場で買い物を楽しみました。

■親善晚餐会（10月27日 18:30～21:30）

クリスタルボールルームにて、親善晚餐会が開催されました。韓国技術士会長から日本側技術士に国際貢献賞が授与されました。また、サッカー試合で勝利した韓国チームと両国のMVPに記念品が渡され



写真4 晚餐会 神戸開催のプレゼンテーション

ました。韓国伝統舞踊があでやかに披露されました。続いて、次回開催地の神戸市の映像と紹介の言葉で、来年の神戸での開催をPRし、全員で、“ネニョネ コーベエソ マンナプシダ！（来年神戸でお会いしましょう！）を唱和しました。（写真4）最後に、恒例の両国女性陣が舞台上でコーラスを披露し、来年の再会を約束いたしました。

■研修視察（10月28日9:00～14:00）

加羅国および金海金氏の始祖である首露の王陵を訪れ、古代朝鮮半島の歴史に触れました。（写真5）その後、洛東江河口エコセンターを訪問し、洛東江河口の生態系保全・管理と啓蒙活動の現状を視察しました。

神戸での開催が、盛大で楽しいものになるように皆様一緒に盛り上げていきましょう。

（文責 萩原 由起子）

（はぎはら ゆきこ、環境、兵庫県支部副支部長/近畿本部日韓技術士運営委員会委員長、
hagihara@aqua-kankyo.com）

